

科目名		授業形態	担当教員名	
神経筋疾患理学療法学		講義	安村 明子・姫野 広美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
中枢神経系の構造と機能を理解し、代表的な神経筋疾患における病態と症状へと知識の整理と修得を行い、適切な理学療法の検査・測定、リスク管理、治療立案までの一連の流れを知り、修得できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
中枢神経系の構造と機能についての基礎知識を整理し、運動と感覚の関係性や伴う障害について説明ができるようになる。また、疾患から生じる機能障害および能力障害の評価方法や、治療までの一連の流れを理解できるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	中枢神経障害の全容			安村
2	脳血管障害の病態と症状			安村
3	脳血管障害に伴う脳の損傷と回復			安村
4	脳血管障害における医療管理、理学療法評価			安村
5	脳血管障害における各病期に応じたリハビリテーション			安村
6	運動失調の病態と症状			安村
7	運動失調の評価と理学療法			安村
8	パーキンソン病の病態と症状			安村
9	パーキンソン病の評価			安村
10	パーキンソン病の理学療法			安村
11	多発性硬化症：基本的な症候と、治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			姫野
12	多発筋炎、皮膚筋炎、重症筋無力症：基本的な症候と、治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			姫野
13	筋萎縮性側索硬化症など：基本的な症候と、治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			姫野
14	ギランバレー症候群など：基本的な症候と、治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			姫野
15	神経変性疾患：代表的な神経変性疾患についての基本的な症候と治療上の注意点について理解し、その知識を治療に生かすことができる。			姫野
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	安村6割、姫野4割の範囲で作成する。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
シンプル理学療法学シリーズ 神経筋障害理学療法学テキスト 第3版	細田多穂 監修		南江堂	
ベッドサイドの神経の診かた 第18版	田崎義昭 他著		南江堂	
実践リハビリテーション・シリーズ 脳卒中の機能評価 SIASとFIM[基礎編]	千野直一 編著		金原出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
医学生・研修医のための神経内科学	神田 隆		中外医学社	
自由記載				
備考				